

東京工業高等専門学校		開講年度	令和06年度（2024年度）		授業科目	【教養選択Ⅱ】哲学入門	
科目基礎情報							
科目番号	00860		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	電気工学科		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	授業内で適宜指示する						
担当教員	村瀬 智之						
到達目標							
1. 授業で扱われた内容について、テキストでの記述や受講者同士の議論を基に、自らの考えを十分に深めることができる。 2. 使用するテキストや他者の発言に向き合い、その意味を十分に理解することができる。 3. 議論の中で自らの主張を丁寧かつ論理的に伝え、積極的に議論に参加することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安 (優)	標準的な到達レベルの目安 (良)	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安(不可)			
評価項目1	授業で扱われた内容について、テキストでの記述や受講者同士の議論を基に、自らの考えを十分に深めることができる。	授業で扱われた内容について、テキストでの記述や受講者同士の議論を基に、考えることができる。	授業で扱われた内容について考えることができる。	授業で扱われた内容について、テキストでの記述や受講者同士の議論を基にしているが、自分で考えることができない。			
評価項目2	使用するテキストや他者の発言と真摯に向き合い、その意味を十分に理解することができる。	使用するテキストや他者の発言と真摯に向き合い、その意味を一部ではあるが理解することができる。	使用するテキストや他者の発言と真摯に向き合うことができる。	使用するテキストや他者の発言と真摯に向き合い、その意味を理解することができない。			
評価項目3	議論の中で自らの主張を丁寧かつ論理的に伝えることができる。	議論の中で自らの主張を伝え、議論に参加することができる。	議論に参加することができる。	議論の中で自らの主張を伝えたり、議論に参加することができない。			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本授業では、これまでに学んできた人文・社会科学の内容をもとにしながら、これまで受けてきた授業を哲学的・教育的観点から考察するとともに、哲学や教育学の分野で問題となっている基本的な問いを中心に受講生同士の議論をもとに考えを深める方法を学ぶ。						
授業の進め方・方法	授業は、指定のテキストの精読とそのまとめの発表、および、発表内容を基にした受講生同士の議論を中心に行う。本授業は学修単位のため、事前学習、事後学習は、必須である。事前学習として指定するものとしては、テキストの精読および担当箇所の発表、アクティビティのアレンジ等を計画立案すること。事後学習として指定するものには議論参加シート等をまとめ蓄積することである。						
注意点	参加型の授業であるため、対話に積極的に参加することが求められる。積極的な参加とは、発言することだけを意味するのではなく、しっかりと聴くことも含まれる。そして、何よりも他の人の発言を受けて、自らが考えを深めることがもっとも重要な「積極的参加」の意味である。 以上のような理由により、評価については、授業に参加したことによって得られる点が多く含まれているため、授業に際して、出席や授業態度、議論への参加には特に注意をすること。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	イントロダクション 哲学的に議論するとはいかなることか	哲学的議論をすることはいかなることかを知り、それに実際に参加すること。			
		2週	哲学対話をやってみよう。	本授業の主要な方法となる哲学対話を体験する。			
		3週	受講生による発表と議論 1	他の学生の発表を傾聴し、必要であれば質問をすること。また、全体での議論に参加し、共に思考を深めることに貢献すること。			
		4週	受講生による発表と議論 2	他の学生の発表を傾聴し、必要であれば質問をすること。また、全体での議論に参加し、共に思考を深めることに貢献すること。			
		5週	受講生による発表と議論 3	他の学生の発表を傾聴し、必要であれば質問をすること。また、全体での議論に参加し、共に思考を深めることに貢献すること。			
		6週	受講生による発表と議論 4	他の学生の発表を傾聴し、必要であれば質問をすること。また、全体での議論に参加し、共に思考を深めることに貢献すること。			
		7週	受講生による発表と議論 5	他の学生の発表を傾聴し、必要であれば質問をすること。また、全体での議論に参加し、共に思考を深めることに貢献すること。			
		8週	受講生による発表と議論 6	他の学生の発表を傾聴し、必要であれば質問をすること。また、全体での議論に参加し、共に思考を深めることに貢献すること。			
	4thQ	9週	受講生による発表と議論 7	他の学生の発表を傾聴し、必要であれば質問をすること。また、全体での議論に参加し、共に思考を深めることに貢献すること。			
		10週	受講生による発表と議論 8	他の学生の発表を傾聴し、必要であれば質問をすること。また、全体での議論に参加し、共に思考を深めることに貢献すること。			

		11週	受講生による発表と議論 9	他の学生の発表を傾聴し、必要であれば質問をすること。また、全体での議論に参加し、共に思考を深めることに貢献すること。
		12週	レポートを精査する 1	自らが書いてきたレポートをもとに発表を行うとともに、自分たちで議論や対話を進行することで、俯瞰的に議論や対話について考える。
		13週	レポートを精査する 2	自らが書いてきたレポートをもとに発表を行うとともに、自分たちで議論や対話を進行することで、俯瞰的に議論や対話について考える。
		14週	レポートを精査する 3	自らが書いてきたレポートをもとに発表を行うとともに、自分たちで議論や対話を進行することで、俯瞰的に議論や対話について考える。
		15週	半期の授業の振り返り	半期をふりかえり、自ら、および、学習者の集団としての行為を反省的に思考すること。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		レポート等	発表等	合計	
総合評価割合		50	50	100	
基礎的能力		20	25	45	
専門的能力		20	20	40	
分野横断的能力		10	5	15	